

【2019年(令和元年)】

10月 木島平中学校 10 人、引率 4 人がディーキルシュ市を訪問



在ルクセンブルク日本大使館前で記念撮影



ディーキルシュ市内 旧市街地を巡る



ルーブル美術館の絵画や展示物を見学

【2019年(令和元年)】

【参加者の声】

・ルクセンブルク訪問交流に参加して、食文化、生活など、日本との違いを発見し、コミュニケーション力を身につけることができました。私は来年来てもらうときに、私が体験した以上の楽しい思い出をプレゼントしたいです。今回、ルクセンブルクのことや発見した自分の課題を生活に活かしていきたいと思います。

・ルクセンブルク訪問交流で、本当に外国人の中で自分ひとりで過ごすということは初めての経験でした。自分の言いたいことが伝わるのか不安でしたが、実際にホームステイ先では不安どころか、英語が通じなくてもただ笑い、一緒にご飯を食べ、英語を聞いたり話したりできる空間にいらただけでも本当に幸せでした。

・今回のルクセンブルク訪問交流で日本では見ることができない風景や建築物、文化や美術に触れることができました。それらは私にとって刺激的なものであり、かけがえのない体験となりました。日本との文化や習慣の違いに戸惑うことが幾つもありましたが、それも私にとってよい勉強になりました。

・ホームステイ初日、ホストシスターと出会ったときはとても感動しました。しかし、英語があまり聞き取れず、緊張していたので話すことができませんでした。しかし、ホームステイをしていくうちに英語が聞き取れるようになり、ホストファミリーの方も気さくに話しかけてくれました。とても貴重な体験ができました。日本語で話せている当たり前のことが、とても大切なことなんだと思いました。

20周年を迎えた

ルクセンブルク交流訪問

2020年1月広報きじまより

10月14日～21日の8日間の日程で、「ルクセンブルク交流訪問」が行われました。

ルクセンブルクとの交流は、相互理解と友好を深めるため姉妹校であるディーキルシュ中等学生と木島平中学校生が毎年交代で訪問を行っており、今回は、小林教育長を団長に中学生10人、引率教員3人の計14人が、在ルクセンブルク大使公邸、ディーキルシュ中高等学校(LCD)を訪問しました。

滞在中は学校での授業体験や美術館見学、ホストファミリーとの生活を通して、異国の文化を学びました。来年はルクセンブルクからディーキルシュ中等学生10人、引率2人の12人が来村される予定です。

今後もお互いの訪問を機に、相互理解を深め、交流が発展するように進めていきます。